



きゅうしょく れきし

# 給食の歴史～コッペパン給食～

きゅうしょく



しょうわ

昭和27年(1952年)、小麦粉に対する半額国庫補助が

こむぎこ たい

はんがくこっこほじょ

かいし

がつ

開始され、4月からすべての小学校対象に完全給食が始

しょうがっこうたいしょう

かんぜんきゅうしょく

はじ

まいにち

まり、毎日ミルク、コッペパン、おかずの献立が提供されま

こんだて ていきょう

ねんご しょうわ

ねん

がっこうきゅうしょくほう

せいりつ

した。その2年後の昭和29年に「学校給食法」が成立し、

きゅうしょく

きょういく

いっかん

ぜんこく

おこ

給食は教育の一環として全国で行われるようになりまし

きょう

きゅうしょく

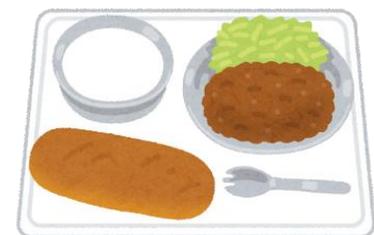
とうじ

こんだて

た。今日の給食では当時の献立にちなんで、

ていきょう

コッペパンといちごジャムを提供します。





コッペパン(いちごジャム付)、<sup>つき</sup>鶏肉の<sup>とりにく</sup>クリーム煮、<sup>に</sup>コールスローサラダ